（別紙4-1）

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0194600094		
法人名	社会福祉法人　慧誠会		
事業所名	帯広けいせい苑グループホーム　はるか（2階）		
所在地	帯広市西18条南2丁目6－4		
自己評価作成日	平成 29年11月30日	評価結果市町村受理日	平成 30 年　3 月 23 日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=0194600094-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者の方が、楽しく生きがいを持って過ごして頂く為、体操や散歩を行う事で健康維持に繋げております。おやつ作りやおかず作りでは、自分の味ややり方で作る事で自分はまだ出来るんだ。という満足感や達成感、そしてそれを次につなげるためにこちらからもアプローチし継続していく事も行いました。外食・外出などでは、ご家族にも参加して頂き、一緒に過ごす時間を職員も一緒に過ごさせて頂き普段見られない姿や貴重なお話を聞く機会となりました。今後もご家族との関係を大切にしていきたいと思います。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人　ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町5丁目2－35コーポラスひかり106号
訪問調査日	平成30年1月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
		○	2. 数日に1回程度
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4）	○	1. 大いに増えている
			2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない

（別紙4-1）

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	法人理念・施設理念を踏まえた事業計画を作成し、その意を共有しつつ事業の実践を行っている。また、施設理念をより実際の業務に浸透させていく為、法人施設全体で研修会を行っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会行事に参加している（古紙回収、河川清掃等）はるかで行っている行事、敬老会・感謝祭等では町内会の多数の方に参加して頂き、交流している。また、避難訓練にも参加して頂いている。また、今年は地域の子ども達と職員とで、夏場にかき氷を振る舞ったり、的当てなどのゲームも利用者と一緒に楽しんで頂いた。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域運営推進会議にて地域包括支援センターや老人会、町内会等と情報交換を行いながら、地域の現状や施設が地域に出来る事を共有している。今年度は町内の子ども会と連携し青空サロンと言うお祭りを行った。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域運営推進会議で情報交換を行い、事業計画、防火活動、利用者の生活の様子報告を行っている。生活へのアドバイスや助言を取り入れている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議委員としてに市地域包括支援センター職員が参加している、また施設広報誌を市介護保険課に送付する、市消防との地域合同防災訓練の実施。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設でマニュアルを作成し全職員に配布しています。身体拘束に当たらないよう対応を検証し朝のミーティングや各会議等を利用し上司を交え確認を行っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	全職員にマニュアルを配布し虐待防止の周知を行っています。日常の介護の中で虐待が無いか職員間でのケアの状況の確認や上司への報告、事例検討会を行い全職員での虐待防止の取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	市民後見の実習受け入れを通し制度を学ぶ機会を取り入れている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書、個人情報保護等について、ご本人、御家族に充分な説明を行い、理解同意を頂いてから契約を行っている。定期的に内容の検討を行っている。今年度料金変更に伴い重要事項を見直し同意頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に家族代表に参加して頂き各行事に参加頂き意見を頂いている。又運営に関する課題等にも意見を頂き取り入れている。面会時や行事の機会に随時意見、要望を聞かせて頂いています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各事業所ごとの会議や役職会議、統括会議を行いそれぞれ会議で得た情報の伝達、状況把握を行い、運営に関わる提案の機会を持ち検討を行っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課制度を導入しスタッフ個々の目標達成の支援のために面接を行い日常的なサポートを行っている。研修やOJTを活かし事業所全体で取り組んでいる。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人事考課制度を導入し、日常業務を通じスタッフ個々に合った育成を行っています。又、年間事業計画に施設内研修や施設外研修を計画しており順次職員が研修を受けている。OJT取り組み個々のレベルアップを目指している。又、育成委員会を法人内に作り法人全体で育成に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム研修、小規模多機能研修、ケアマネ研修に参加し、ネットワーク作りや知識向上の機会を持っています。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に面接し、本人、ご家族、他関係機関から生活歴などの情報を頂き、関係づくりに活かしている。又、本人にとって不安な事や要望を聞いて、総合的なアセスメントをしながら、必要なケアを実施し、関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に施設内をみて頂きその際、家族と話をする場を設け不安なことや要望を聞いている。コミュニケーションを図り安心してサービスを受けられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と家族が大切にしている事を考慮しながら今、何が必要かを考えその方に合ったサービスを選択し、迅速に対応するよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしの中での様々な状況や思いについて常に耳を傾け、話し合う事で、相談し協力しながら本人と職員が共に助け合い、1つでも多くの思いをくみ取り楽しいと思える生活を送って頂ける様に関係をたいせつにしている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や手紙で日々の様子を理解して頂き、職員と共に本人の生活を支えて頂ける様にしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある場所や人に会うことにより、懐かしい、楽しいと思って頂けるよう、お家へ行ったり、会社に行ったり、クラス会への参加を支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶の時間やレク活動等で利用者同志が関わり合える時間を作っている。 関わりが苦手な人には職員が間を取り持つ等、個々の気持ちを察しながら支援に努めている。又、利用者同士の会う合わないを考え関の配置なども考えながら行っている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスを継続出来なくなった場合にも要望に応じて次のサービスへの相談、申請支援をしている、契約終了後も、相談等の対応をさせて頂いている。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	各担当が中心となり、日々の記録、アセスメントやモニタリングを実施している。日々の生活の中で関わりを持ち、その方の意向の把握に努めている。把握が困難な場合や課題が生じた場合にはケース会議・職員会議にて検討、関わりについての確認をおこなっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人一人の生活歴に関する情報を本人、家族から提供して頂き、これまでの経験や出来事を把握して日々の生活の中で今まで行ってきた事を継続して行ける様又経験を生かすよう努めている。又、日々の中で疑問や以前の対応などを面会時や電話などで確認も行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各担当が中心となり随時モニタリングを実施し、職員、看護師と連携を取りながら一人ひとりが安心、安定した生活が送れるよう努めている。又、チームだけでなく施設全体で共有が必要なものは、資料等で周知している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人一人に担当を決め、月１回のチーム会議で職員間の意見交換を行い、計画の見直しや検討を行っている。本人、家族、職員全体との意見交換を経て作成している。又、必要に応じて随時モニタリング、ケース検討を実施している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々のケアプランに沿っての介護記録や申し送りノート等を活用して職員間情報共有をしケアを実践している。。見直しや実践の振り返りに活用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ法人内の栄養士や作業療法士に助言を頂いたり、歯科の訪問を取り入れ利用者の健康維持に取り組みました。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	事業所内での出来事、行事、今後の方向性等については地域運営推進会議や町内の回覧板等で情報発信している。また、町内会の行事のお誘いを受けて参加させて頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりけ医の継続等、家族の希望を聞きながら対応している。状態変化時は早目の受診が出来るよう援助し、適切な医療が受け続けられるよう、看護師と連携しながらかかりつけ医と本人の状態の共有に努めている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の体調変化の報告。通院後の受診記録、薬の情報を報告している。 状態変化があった時には、すぐに看護職員に相談できる体制を整えている。（休日であっても電話にて指示受ける）		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者が急病や容態変化で医療機関を受診、入院になった場合家族が医師と相談して以後の対応を考え、協働しながら治療できるように努めている。入院時には家族に頼るだけでなく、職員も立ち会い治療方針の情報を得ている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応についてはその都度話し合いを持ち、家族と一緒に受診し医師を交えた相談を行っている。その際の報告書などにより情報の共有を図っている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを元に事故発生時にもあわてずに対応出来るように備えているが、職員が全員同じような対応ができるかは課題ではあるが、看護師などと連携を行いながら行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中想定・夜間想定とし年2回の避難訓練を実施している。また、避難訓練時には地域の方々にもお声掛けしご参加頂き、日頃からも関わりを持ち関係を深めながら災害時のご協力とご理解を頂いている。運営推進会議でも議題に上げ地域に状況確認も行っている。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し、プライバシーを大切にしていくという意識を持って接している。常に言葉づかいを職員間でも注意し合いながら接するように心がけている。又、認知症の理解も行い、利用者の言動や行動も理解していけるようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、本人の思いを言葉や嗜好・行動・表情から感じ、やりたいことができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の、その人らしい生活スタイルを大切にし、習慣や本人のペースに沿える様希望を聞き散歩や買い物等に出かけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	出張理容室を利用したり、ご家族がしてくださったり、なじみの店に言ったりと、本人が希望する髪型にしたり、季節に合った服装をし、いつもきれいな身だしなみで過ごしていただく事を心掛けている		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食べておいしく、見ておいしい盛り付けになるように心がけ、利用者に盛り付けなどもして頂き、これから食べる期待感やお手伝いして頂いた満足感も持って頂く。食べたいものがある時などは調理を一緒にして頂き、満足感の得ることが出来るように行っている。又、本人の希望や日常の会話の中から食べたいものなどを聞き外食なども行っている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた献立で食事を提供している。毎日一人一人の状況を記録しながら把握している。嗜好の考慮や食形態も一人一人に合わせて実施している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けを行い、歯磨き、義歯洗浄を実施し、清潔を保持している。身体状況に合わせて職員が介助して一緒に行っている。又、家族の意向や必要に応じて歯科衛生士のケアを取り入れ口腔内の健康を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄リズムを把握しながら、その方に合わせ随時声かけやトイレ誘導・パットの検討を行っている。又、排泄の記録から水分や食事、下剤の調整を随時行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取と歩行、立ち上がり等で排便を促している。又、毎朝乳飲料を摂取して便秘の予防をしている。毎日のラジオ体操や散歩等、運動の機会も設けている。また毎日の食事、水分、排泄を記録し状況を把握し健康を保っている。又、Drと相談し下剤の調整なども行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	可能な限り利用者の希望に沿って入浴して頂いている。一人週2回は入浴して頂いています。又、車いす浴も状態に応じて行っている。体調不良により入浴出来ない時もあるので清拭なども行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者個々の体調昨日の様子などを考慮しながら、日中休息の時間を設けその日一日を元気に過ごせるように対応させて頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の効用や副作用を十分理解して症状の変化などにも気を付けている。処方された薬でも利用者に合っているかNSや薬剤師の方とそうだんすることもある。服薬の際は、氏名、日付、時間などを確認しし誤薬の無いように注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴やその他の情報を基に、一人一人の得意な事を役割に持って頂き、生きがいに繋げている。希望に沿って買い物やおかず作り、ドライブ、飲食等の個別活動も行っている。又、外出等本人より希望があった際には可能な限り対応している。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者一人一人やご家族の思いや希望に沿って散歩や外出・外食・買い物等を個別実施している。又、外出を企画しはるか全体で実施している。時にはご家族に協力して頂き外出を実施している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預かり金がある方は外出などにときは持参し、月に一度職員と一緒にお金の計算を行っている。預かり金をさせて頂いていない方は、買い物等の時はGH立て替えしお払いさせて頂いている。支払いを心配されている方でも実際に払っている事を説明する事で納得され、安心されている状況にある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人等への電話は自由にすることができる。 その際、相手に事前に確認することの配慮を行っている。手紙のやり取りも自由に行うことができる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は整理整頓や清潔を保つ様に心がけ季節ごとの温度や湿度の調整に心掛けている。 又、四季の変化を感じて頂ける様に装飾を考えたりしている。又、利用者の方と一緒に作ったりもしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食卓を囲む空間と、ソファーのある空間がある。その時々の本人の思いや状況に合わせ、自ら過ごす場所を選択できるように工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の思い、意向に沿って仏壇や馴染みの家具を置いたり本人が気に入ったものを飾る等して安心し、又ご家族との写真や思いでの写真を貼ったりして心地よく過ごせる工夫を行っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の身体状況を考えながら、その人に合った介助用品の検討などを行う。又ご自宅からの入所の方はご自宅で使っていたものや家のレイアウトに合うように変化させるなど、ご自身で出来ること、やりたいことを安全かつ、自信を持って行える様工夫しながら支援している。		